

家庭学習のてびき

(保護者用)



- ◇ 家庭学習は、学校で学習したことをしっかり身につけるために、また、自ら学ぶ習慣を身につけるためにもとても大切なことです。
- ◇ 小学校のうちに自ら机に向かう習慣が、これからの学習に大きな影響を与えます。

子どもをあたたかく見守りながら家庭学習の習慣化を進めましょう。

家庭学習のさせかた

- ◇ 時間 学年×10分+10分
1年生で20分、6年生で70分が目安です。
無理のない時間を設定しましょう。

(何時何分～何時何分)

「必ず机に向かう」習慣を身に付けさせましょう。

- ◇ 内容



- ・音読、漢字練習は、毎日行います。
 - ・先生から出された宿題を行います
 - ・4年生からは、『自学』にも、取り組ませて下さい。
 - ・1～3年生は、音読、漢字練習、宿題を基本とします。
- 時間に余裕があるときは、「家庭学習の手引き」を参考に、『自学』にも取り組ませて下さい。



	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
時間の目安	20分	30分	40分	50分	60分	70分
内容						
音読	○	○	○	○	○	○
漢字練習	○	○	○	○	○	○
宿題	担任から、出されることがあります。					
自学	時間が余ったら、やりましょう。	○	○	○	○	○

※ 勉強が終わったら、次の日の準備をさせて下さい。

学習環境作りをお願いします。

- ① 落ち着いて学習できる環境を作りましょう。
 - ・机の上や周りに気になる物を置かないなど、集中して学習できる環境を作ってあげて下さい。
 - ・「テレビを見ながら」「音楽を聴きながら」「おやつを食べながら」などの「ながら学習」は、させないようにして下さい。
- ② 子どものやる気を引き出しましょう。
 - ・できるだけ学習内容に目を通し、ほめたり、励ましたり、認めたり、声をかけることで、子どもはやる気を起こします。
- ③ 生活習慣を身につけましょう。
 - ・規則正しい生活のリズムを身につけましょう。
 - ・宮城県では、「早寝・早起き・朝ご飯」推奨運動を実施しています。



家庭学習 (毎日取り組みます)

音読について

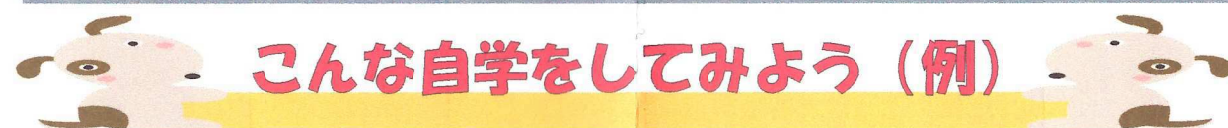
国語の教科書や絵本など、声を出して読むことで表現力の育成につながります。つまづいて、なかなか上達しないときには、文を短く区切って同じ所を何度か練習させましょう。短く読んだ後に、追いかけて読ませても効果があります。

漢字練習について

その学年で、習得すべき漢字を繰り返し練習します。中学年以上では、使い方や意味を同時に覚えるためにも、意味の分からない語句は、辞典を活用させて下さい。書き順が正しくないと気づいたときには、直してあげて下さい。教科書の巻末に新出漢字の筆順がありますので、参考にして下さい。

先生から出された宿題について

音読や漢字練習以外の担任から出された宿題についても、声をかけて取り組ませて下さい。



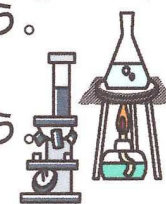
こんな自学をしてみよう (例)

1・2年生

- ・計算練習をしよう。
- ・九九を覚えよう (2年生2学期から)
- ・時計を読もう。
- ・絵日記や作文を書こう。
- ・ひらがなやカタカナの練習をしよう。
- ・「て、に、を、は」をつかって正しく文を書こう。
- ・いろいろな本をたくさん読もう。
- ・百科事典や図鑑で調べよう。

3・4年生

- ・教科書の問題などの計算練習をしよう。
- ・コンパスで円をかいてみよう。
- ・分度器で角度を測ろう。
- ・日記や作文を書こう。
- ・辞典を使って意味を調べよう。
- ・ことわざを調べよう。
- ・ローマ字を覚えよう。
- ・生き物や天体を詳しく観察しよう。
- ・理科や社会で学習する文化や自然、産業について調べよう。
- ・地図帳や図鑑で地名を調べよう。



5・6年生

- ・教科書やドリル等の問題をしよう。
- ・公式や図形の性質、用語をノートにまとめよう。
- ・難語句を辞典で調べよう。
- ・教科書を視写しよう。
- ・ニュースや新聞を見て、感想を書こう。
- ・偉人について調べよう。
- ・歴史年表を作ろう。
- ・年号の覚え方を自分で考えよう。
- ・実験器具の使い方をノートにまとめよう。
- ・生き物の生態について調べよう。

